

## 会議議事録

会 議 名	2016年度 第2回教育課程編成委員会
開 催 日	平成29年7月8日(土) 11:00~12:00
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室
委 員	出席8名 阿部光佑、児島康夫、山本慎介、 帆苺 猛、加藤 啓、綾 牧子、伏見幸子、 芦野裕一、根本 亮
	欠席0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学芸大学実地調査について</li> <li>●介護福祉士国家試験について(参照:「社会福祉士法等の一部を改正する法律の公布について」より一部抜粋)</li> </ul>
会 議 録	<p>※2月25日(土)の第2回は、複数の委員の欠席(体調不良)により中止となった為、日程を変更して実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 校長挨拶</li> <li>2. 学芸大学実地調査について(加藤)</li> <li>3. 指定養成施設卒業生対象の介護福祉士国家試験の予定について(伏見)</li> <li>4. その他 来年度の委員会の実施日程について</li> </ol> <p>※2.3.4については議事録参照</p>
議事録①	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学芸大学実地調査について</div> <p>・文部科学省より幼稚園教諭養成課程の指定養成機関として指定されている専門学校は、指導大学が定期的に実地調査をおこなうことが</p>

	<p>定められている。本校の指導大学は、国立大学法人東京学芸大学となっており、平成 28 年 12 月におこなわれた。前回の平成 25 年の実地調査から、およそ 3 年分の実績について調査された。(加藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査用の資料として、事前に指示された教育課程を基にした、教員並びに授業、学生の出席及び成績などの記録にかかわる帳票を用意した。また、教員の履歴書並びに学生便覧及び講義概要、研究紀要なども指定された。(根本)</li> <li>指定された帳票類並びに調査方法については、どのように対応したのか。(児島) <ul style="list-style-type: none"> <li>→帳票などは、調査に関係なく毎年作成している書類を整理して、準備した。教員の履歴書については、前回調査以降の研究業績などの作成をお願いした。(加藤)</li> <li>→当日は、東京学芸大学の実地調査担当の教職員が来校し、校内見学を実施した後、数人ずつに分かれて帳票の調査並びに帳票・資料を基にした質疑応答がおこなわれた。(根本)</li> </ul> </li> <li>学校行事並びに定期試験期間などを含めた、授業回数の確保する方法及び学生数、就職、資格利用率などの質疑について対応した。また、教員養成機関として教育課程などを遵守しつつ、学校の独自性を出せるカリキュラム構成を図るため、学芸大学の指導協力を依頼した。(帆苺)</li> <li>調査の最後に、講評を聞いて終了となった。本校に限らず、疲労している学生が見られるので、健康管理などの学生指導の必要性を話された。その他、大きな指摘事項は無く、口頭で指摘された件について、学校として対応する。(加藤)</li> <li>学校の設備などの改修の予定はあるのか。(阿川) <ul style="list-style-type: none"> <li>→指摘事項と併せて、予算などが必要となる課題については、検討を続ける。(加藤)</li> </ul> </li> </ul>
<p>議事録②</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指定養成施設卒業生対象の介護福祉士国家試験の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2017(平成 29)年度の介護福祉科 2 学年並びに介護福祉専攻科の学生は、卒業時の介護福祉士資格の取得要件が変更となる。(詳細は「2016 年度 第 1 回教育課程編成委員会 議事録③参照」)</li> </ul> <p>1 年課程の介護福祉専攻科と 2 年課程の介護福祉科と 2 つの学科の学年暦を共通にしたままで、国家試験対策などの日程が調整できるか不安だった為、平成 28 年度 of 国家試験実施は延期となったが、とりあえず今年度の日程に国家試験対策期間を設け、1 月に実施し</p>

	<p>た。(伏見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は国家試験が延期になったということで、その対策期間は何をしたのか。(児島)       <ul style="list-style-type: none"> <li>→介護福祉専攻科は、医療的ケアの集中講義をおこなった。演習科目を、週ごとではなく、集中しておこなうことで、1年間という短期間で、技術などの修得につながった。来年度は、国家試験後から卒業までの期間で、同じように集中講義として調整したいと考えている。</li> <li>介護福祉科は、補講並びに卒業時共通試験(※)の対策期間として使用した。例年より多くの過去問題をおこない、反復学習をすることができ、良好な試験結果につながった。(伏見)</li> </ul> </li> <li>・国家試験の傾向などは、準備できているのか。また、教科書の選定は指定されるのか。(児島)       <ul style="list-style-type: none"> <li>→来年度の国家試験については、受験方法などの情報が示されていないので、対策並びに教科書など不明である。現状での対応しかできない。(伏見)</li> <li>→国家試験を受験することで、授業の内容をより国家試験対策に近づける必要があるのか。早く、受験の手続き及び日程などを示して欲しいと考えている。(加藤)</li> </ul> </li> <li>・現場での介護福祉士不足が叫ばれているのに、国家試験を必須とすることで、更なる人材不足となることを心配している。(阿部)</li> <li>・施設などでは、介護福祉士が多い施設に、予算が多く配分されるので、優秀な人材が求められている。(児島)       <ul style="list-style-type: none"> <li>→自宅でもケアができる人材養成が求められてきているので、国家試験を導入することで、個人のレベルアップを期待したい。また、平成31年度に向けてカリキュラム変更も予定されている。(伏見)</li> </ul> </li> </ul> <p>(※)『卒業時共通試験』(社団法人日本介護福祉士養成施設協会)とは、養成教育目標の達成度評価のため、全国すべての介護福祉士養成施設で卒業見込者を対象として実施される試験。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の開催予定       <ul style="list-style-type: none"> <li>○来年度の日程は、後日調整する</li> </ul> </li> </ul>